

# 「地域之力」診断ツールワークショップ セミナー 【一般財団法人 CSOネットワーク】

## 事例紹介

静岡県静岡市駿河区

「認定NPO法人 丸子まちづくり協議会」

# 私たちの地域「丸子」は、農村風景とベットタウンが混在する程良い田舎です



## 場所の紹介

道の駅 宇津/谷

農村風景

東海道丸子宿

ベッドタウン

安倍川駅

ポイント 34° 56'22.60" N 138° 20'05.05" E 高度 64 m

ストリーミング 100%

上空 4.59 km

旧東海道の宿場町＋蜜柑とお茶で栄えた時代もあった・・・  
昭和40年ころから宅地化が進んだ地域です。

## ■はじめに

- 丸子は東海道五十三次の二十番目の宿場として賑わいのあるまちであった
- 宇津ノ谷峠、誓願寺、吐月峰柴屋寺、丸子城趾など歴史的資源が豊富に残る
- 6,000戸、14,500人 高齢化30%
- 農家数190戸 経営耕作地114ha 耕作放棄地64ha
- 小学校は1学年四学級を維持している
- 市内外から若い夫婦が移住（家屋新築等）も有る
- 地元商店会の衰退 鉄鋼団地企業の就業者減少 . . . .

### 【まちづくり協議会は】

設立段階から地域市民の自主的活動であり、行政と直接関わるものではない

# ①丸子まちづくり協議会立ち上げの経緯

平成22年春

小学校PTA会長から

「地域には優秀な**人材が埋没**している、**様々な団体間の協議会**みたいな組織があると良いよね。PTA役員を終えても地域活動で活躍する機会も出来ると思うけど」  
自治会連合会長はその一言に感銘

「よし、**地域の全ての団体に声を掛けてみよう**」と協議会立ち上げを決意した。

平成22年7月から7ヶ月間

毎週関係者を集めて、協議会をどう立ち上げるか議論に議論を重ねて、自治会連合会理事会（毎月全自治会長41人が集まる）に提案した。

◆自治連があれば良いでは無いか ◆何をしたいのだ ◆理解出来ない と言った発言が有って、袋小路に入り込みそうになっていたが、**粘り強く説明を続けた・・・**

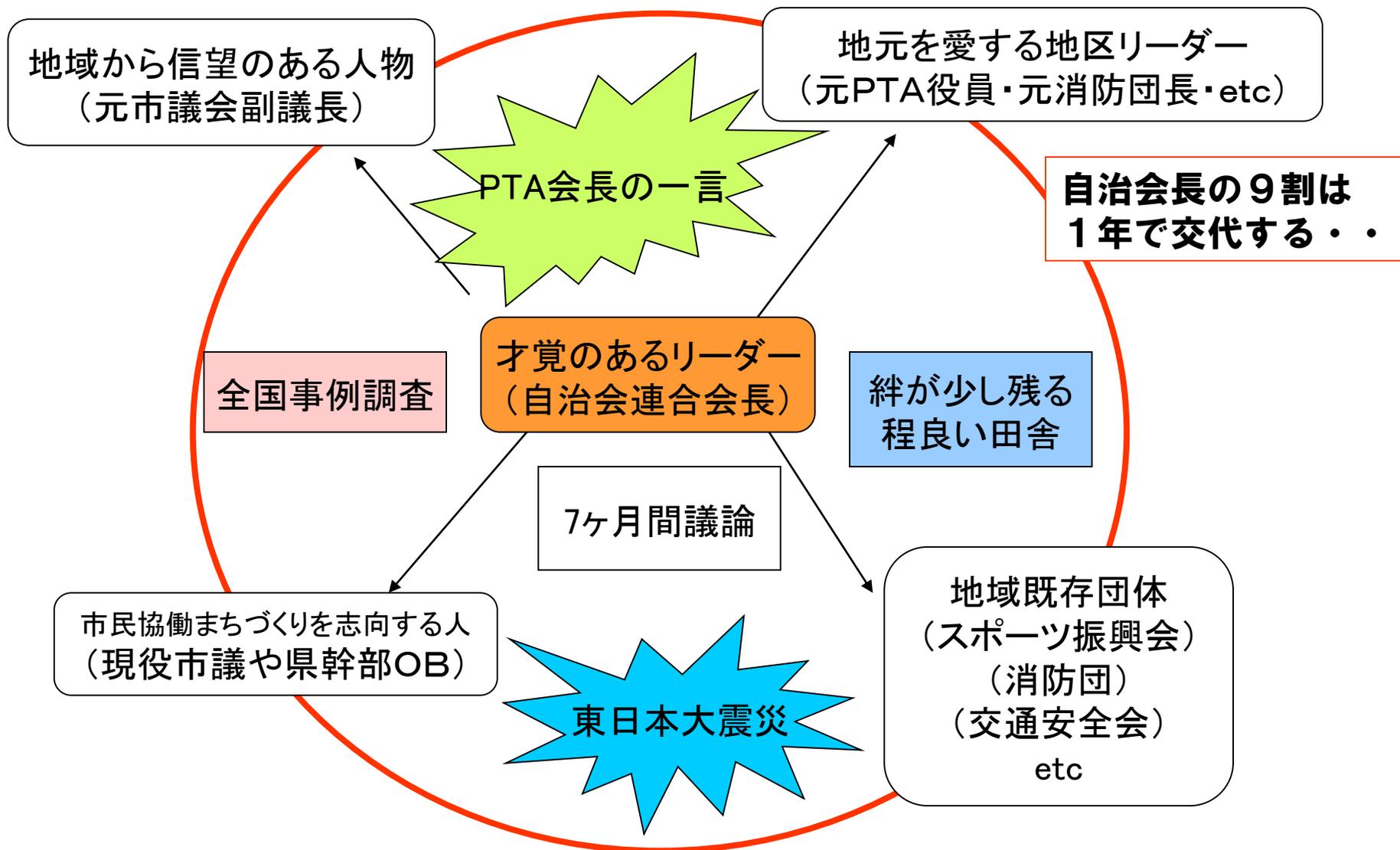
平成23年春

**東日本大震災**が2011年（平成23年）3月11日午後2時46分18.1秒に発生した東北地方太平洋沖地震が発生し（死者15,8932人,行方不明者5536人という甚大な被害）

発生直後から現地に状況は空撮映像で報じられ大きな衝撃を受けた。

避難生活を目の当たりにし、**地域コミュニティの重要性を地域全体が認識した。**

## ②丸子まちづくり協議会立ち上げの経緯（概念図）



### ③自治会以外への呼び掛け

■各種団体の維持が難しくなっている

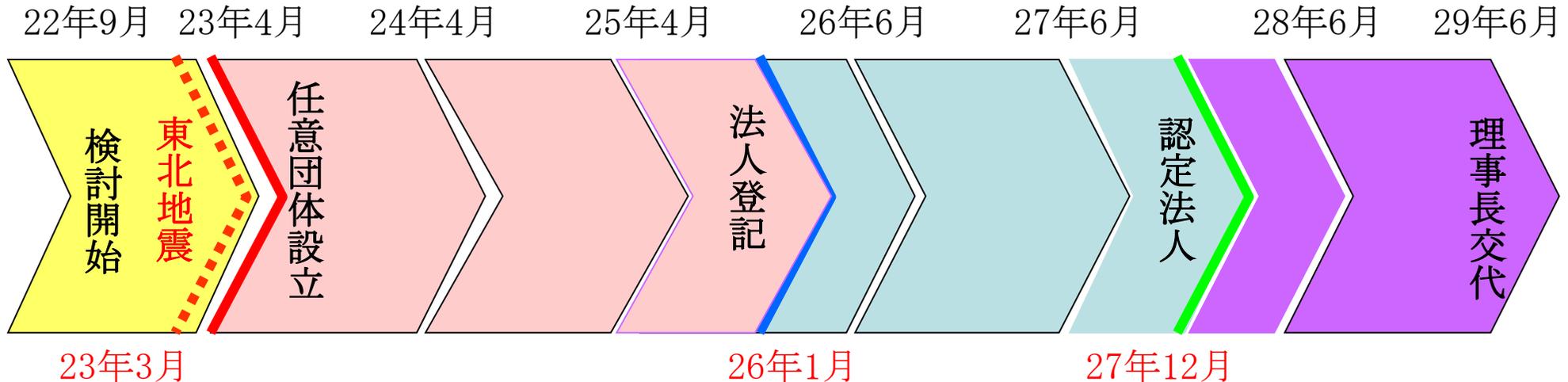


自治会連合会長から  
各種団体のトップへ個別に説得

※任意団体から法人化の時点で  
◆全ての団体が正会員として  
加入した。  
◆入会会費無し、年会費のみ

■自治会連合会長への個人的信頼  
人間性もあって深く意識せず  
参加した面もある・・・

# ④丸子まちづくり協議会の歩み



- 平成22年9月：協議会設立に関する検討開始
- 平成23年3月：東北地震
- 平成23年4月：任意団体設立
- 平成25年4月：NPO法人登記
- 平成26年1月：認定NPO法人
- 平成29年6月：理事長交代

(初代理事長静岡市自治会連合会副会長専念)

■設立時から地域市民のみで地域課題に対する活動をしているのが特徴です。

■活動費は自治会連合会からの支援や会費・寄付金・各種活動支援事業応募等です

# ⑤自治会連合会（自治会）の役割

## 地域住民

自治会【チラシ配布・宿場祭り準備など】

自治会連合会

地区交通安全会

地区防犯委員会

地区体育振興会

地区社協推進協議会

幼・保・小・中学校PTA

同好会

企業・商店

団体・etc

わいわい会議

鉄鋼団地組合

丸子商店会

水防団

消防団

約80の組織・団体

当初は任意団体であったが3年経過し  
非営利特別活動法人（NPO）丸子まちづくり協議会設立

市行政担当部署

市社会福祉協議会

県・国行政担当部署

県・国社会福祉協議会

現在法人として3年目を迎え  
様々な事業を行っている  
【法人運営は法人独自で実行】

# 地域力診断＋ワークショップ

報告(概要) & 今後の展開

## 1：参加者

地域の役員と経験者、及び交通部会で開催しているワークショップメンバーに声を掛けて30人が参加（40代2人、50代2人、60代12人、70代14人）

## 2：反省と今後の展開（定期検診が重要）

- ◆この度診断ツールによるデータに基づく判定をしていただきましたが、様々な会議や日常の会話に交わされている内容をデータとして再確認出来ました。
- ◆出来れば次回には地域の力を持続して発揮する為に必要不可欠な30代・40代の皆様に参加して貰い、診断ツール活用による診断結果「強み・弱み」を地域で共有し、「持続性のあるまちづくり」につなげて行く事が重要だと考えています。ただし、現役世代を集めての開催には日程を考慮する必要があり、今回と同様に30人程度で開催出来るか不安もあります。
- ◆具体的にどの項目というまでは言えませんが周りの反応を見ていて、参加者の地域活動への関わり度によって、診断ツールの設問に答えにくい項目もあった様に見受けられましたので、更なるバージョンアップを期待します。

# ワーク状況



# ワーク状況



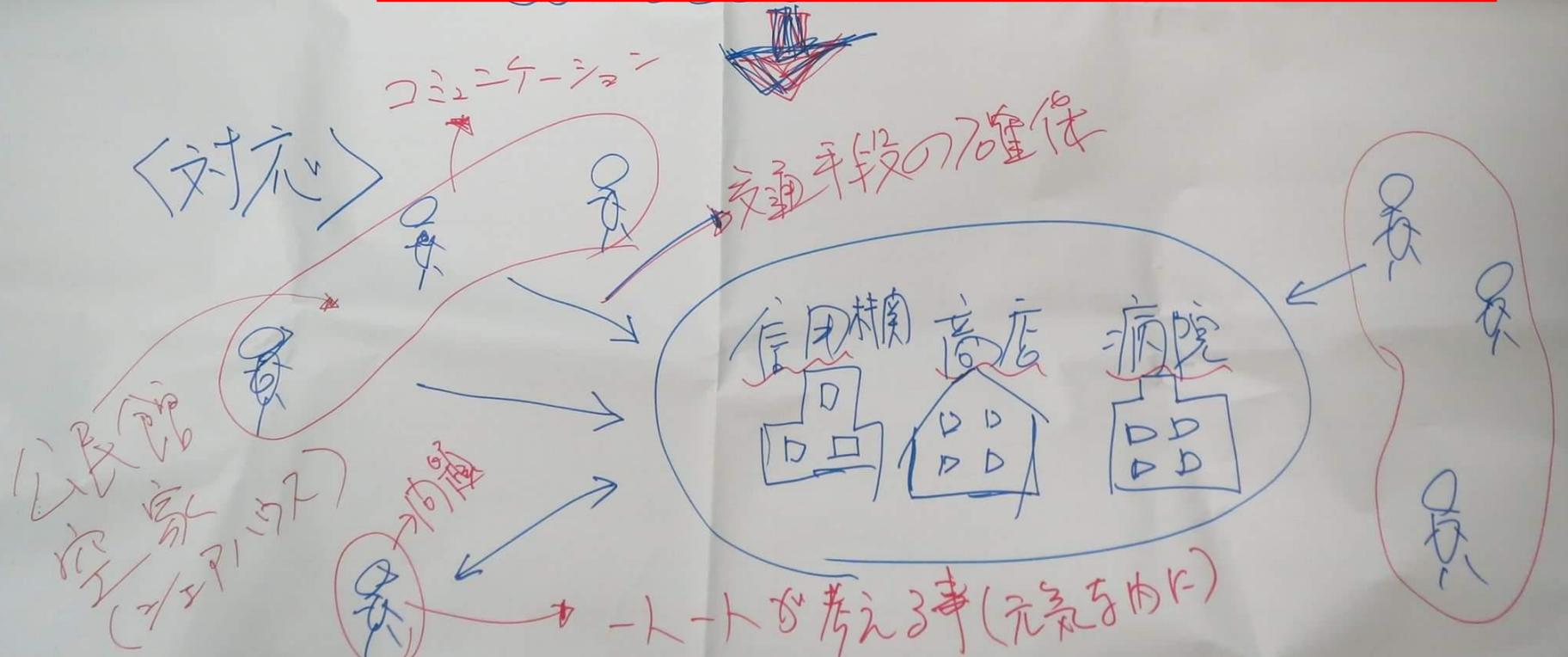
# テーマ「高命化社会への対応」(弱みの克服)

## <現状>

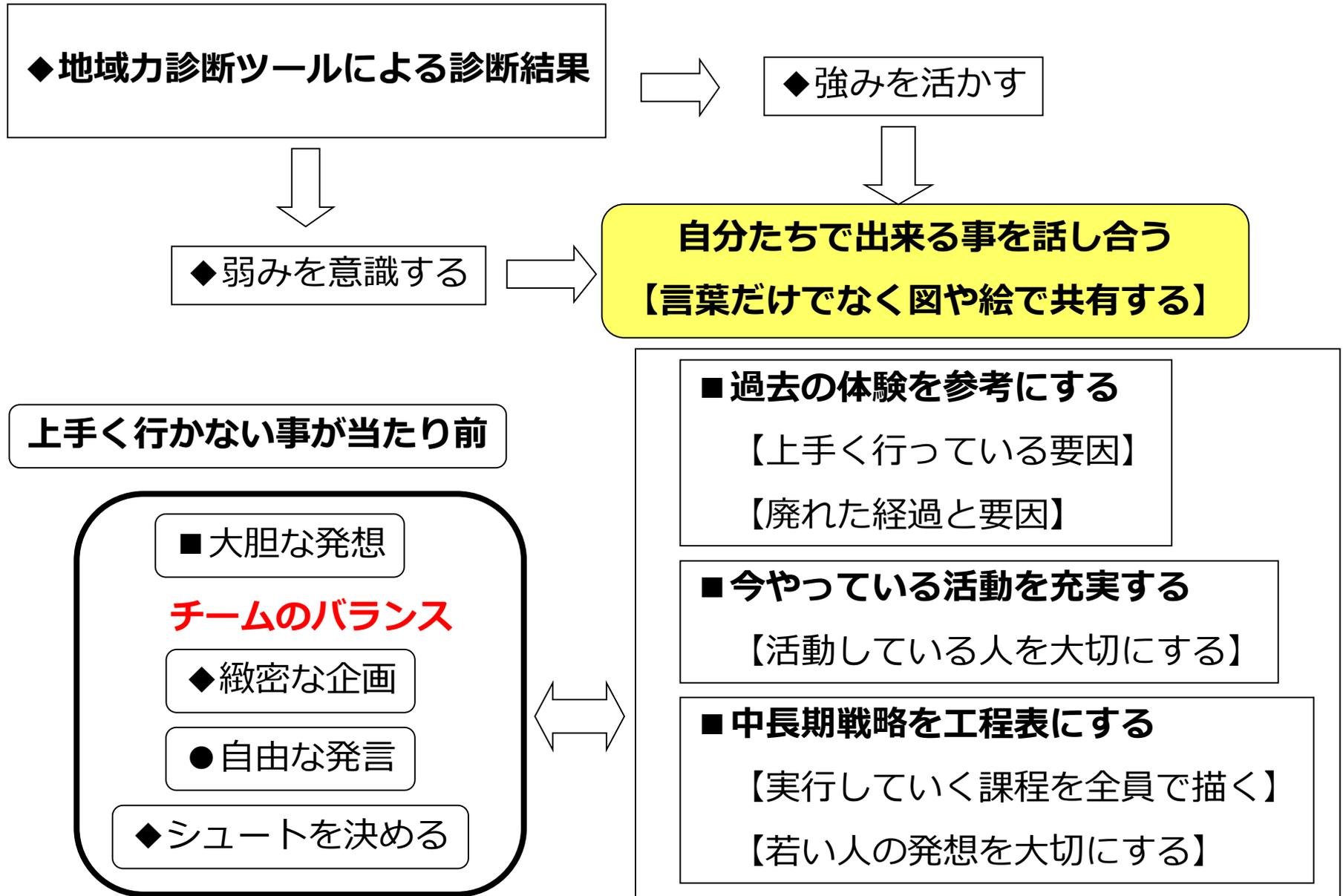
- ・高命化の進行 30%以上
- ・独り暮らし老人の増加
- ・医療、買物、経済力(所得)の低下、不安

↓  
 どこで、どうやって死ぬかが大きな問題

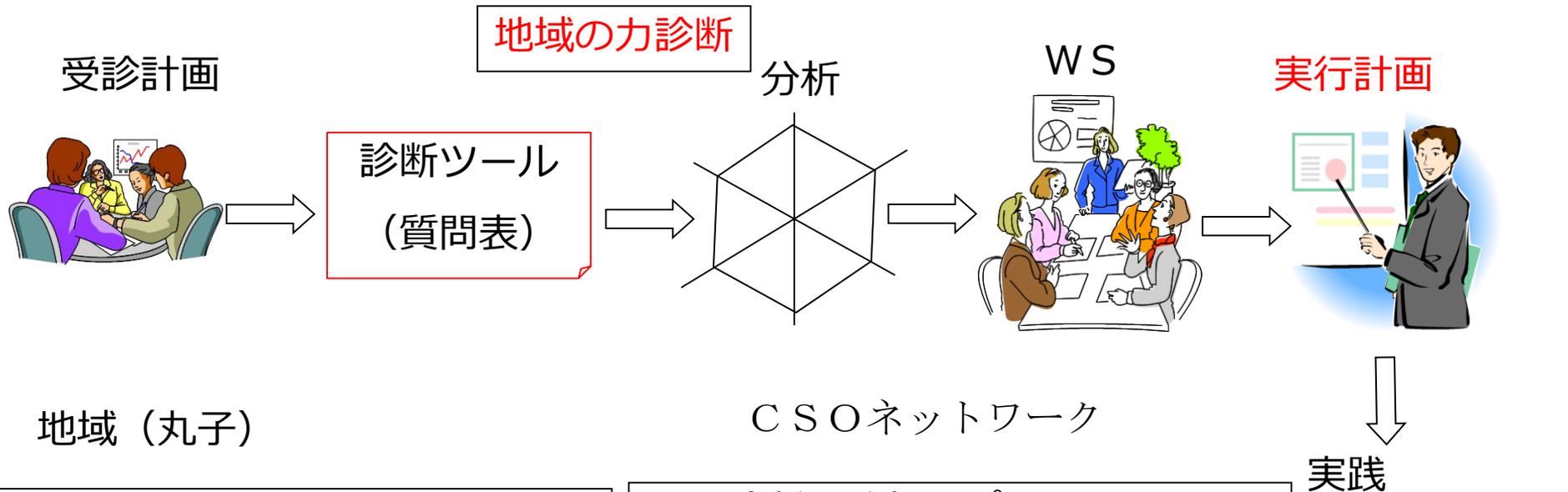
## <対応>



# 「地域の力」 診断結果を活動に活かすWS



# CSOネットワークの力を持続可能な地域を支えるために



- 1 : 誰を呼ぶかを事前に話し合う
- 2 : **質問表をアレンジする**
- 3 : WSで終わりでは無い
- 4 : 実行計画の策定
- 5 : 実践【短期・長期・・・】

- 1 : 診断&分析サポート
- 2 : WSファシリテーター
- 3 : **実行計画策定のアドバイス**
- 4 : 実践中のアドバイス
- 5 : ネットワークによる情報共有



地域独自の  
運営形体

# 助成金による通院支援と買物支援車両の運行

約30人のボランティアにより運行（2年目）



「高齢者の住みよいまちづくり」に  
継続して取り組んでいます。



# 親子約200人による田植え体験と稲刈り



「農業後継者不足」による  
耕作遊休地活用も6年目を  
迎えています。



以下参考

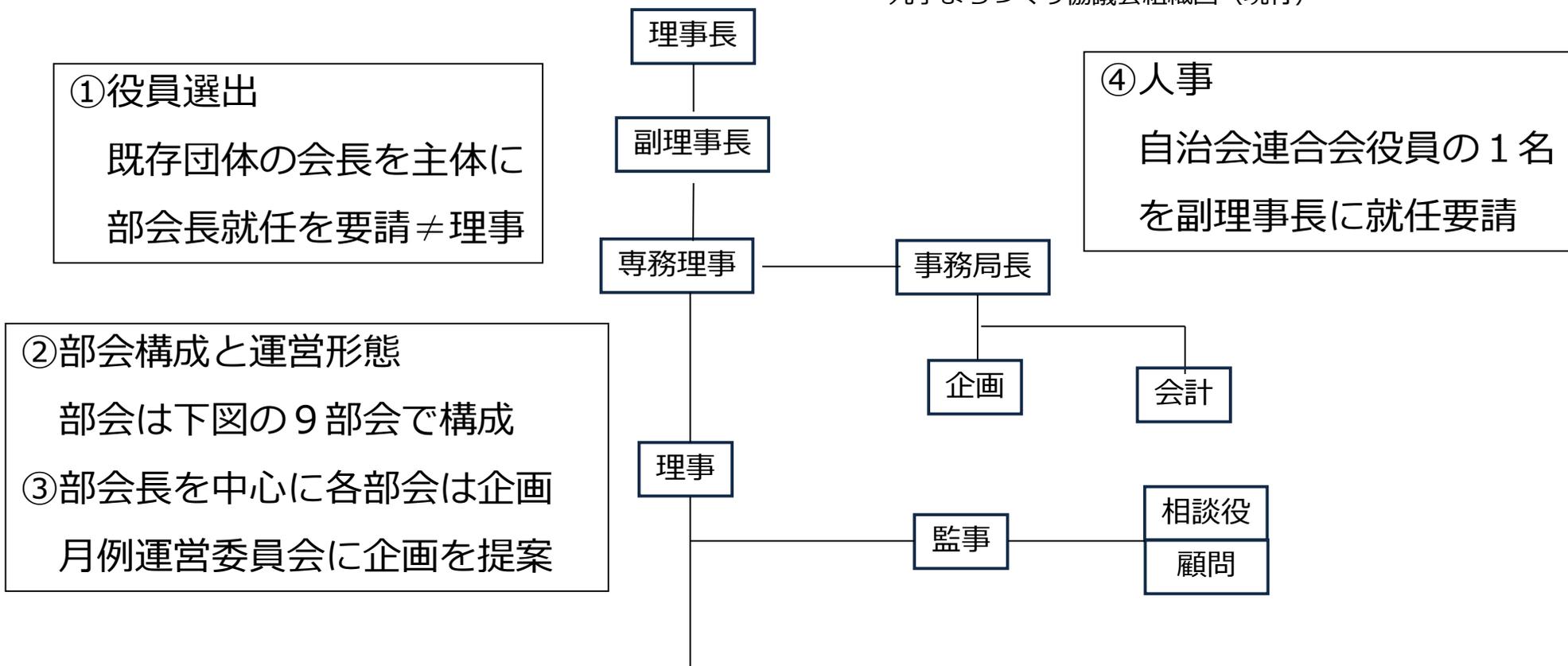
「NPO法人 丸子まちづくり」の紹介

# ⑦丸子ビジョンについて



# ⑧組織

丸子まちづくり協議会組織図（現行）



防災部会	観光部会	社会教育部会	環境部会	福祉部会	体育部会	防犯部会	交通部会	広報部会
部会長	部会長	部会長	部会長	部会長	部会長	部会長	部会長	部会長
副部会長	副部会長	副部会長	副部会長	副部会長	副部会長	副部会長	副部会長	副部会長
部会員	部会員	部会員	部会員	部会員	部会員	部会員	部会員	部会員
協力員	協力員	協力員	協力員	協力員	協力員	協力員	協力員	協力員

# ⑪地域の課題と課題解決内容(活動の成果)

## 地域の課題

- ・ 長寿社会の課題
- ・ 農業後継者不足
- ・ 地域の安全
- ・ コミュニティ崩壊

## 地域力

## 解決(成果)

- ・ 通院&買物支援車両運行
- ・ 放任田畑や竹林活用
- ・ 地域見守り隊
- ・ 丸子宿場祭り継続

# ⑫活動を継続する為に

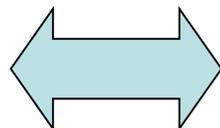
## 地域の力

■人

■モノ

■金

■風土



### ◆事業運営

- ・理事会
- ・運営委員会
- ・実行委員会
- ・J A & 金融機関との定期的意見交流会

### ◆活動への自主的参加者

- ・P T Aとの関係強化
- ・単位自治会からの人材発掘応援

### ◆資金調達力

- ・賛助会員強化
- ・企業、個人からの寄付金